「健康な日本」を実現するために 地域経済・中小企業を直視し万全の政策を

日本商工会議所
会頭 山口 信夫

平成十八年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

「健康な日本」に向け正念場の年に

わが国の景気は、全体として明るさが増しつつあり、よういやくデフレ脱却まで今一歩というところまできましたことは、大変喜ばしい限りです。しかしながら、原油価格の高騰や海外の経済動向、加えて、減税措置の縮小・廃止を中心とする増税や年金の負担増による消費への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明感は拭えません。

安心できる国づくり、地域づくり

日本商工会議所といたしましては、中長期的な喫緊課題のうち、まず財政再建については、徹底した歳出削減を大前提に国民や企業が納得できる方策を提言してまいります。また、わが国の将来を決定づける基本的かつ最大の問題である少子化への対応について、解決までには極めて長い時間を要する問題だけに、一刻もはやく実効性の高い対策を講じる必要があると思っております。

次に、私どもが抱えている短期的な重要課題の一つとして、まちづくり3法の抜本的な見直し作業がいよいよ大詰めの段階を迎えています。日商では、高齢者にも環境にも優しく歩いて暮らせる「コンパクトなまちづくり」の実現に向けて、政府・与党・関係省庁等へ精力的に働きかけてまいりました。

その結果、都市計画法のゾーニングを強化するとともに広域調整の導入を基本とした我々の主張が、かなり理解される段階までまいりました。商店街としても自ら努力していくことは言うまでもありませんが、特に大事なことは、新たな法体系のもとに大型店と地域が共存・共栄し、住む人にも愛され誇りのもてるまちづくりを着実に進めていくことであります。その実現のために、今後とも皆様のご協力をいただきながら全力で取り組んでまいります。

特に中小企業のために万全の政策を

さて、わが国経済は、その主たる推進役は大企業ですが、これを支えているのは中小企業であります。大企業と中小企業が巧に織り成し、そして中小企業が本来もつ活力を存分に発揮できなければ、地域経済の再生も、日本経済の活性化もありえません。

そのためには、特に地域経済・中小企業の実態を直視し、厳しい環境変化の荒波にもまれながらも必死に努力を重ねている中小企業を支援する、その対策予算や活力強化に資する税制改正など万全の政策を強く要望してまいります。なお、昨年末に政府の基本方針が示された政府系中小三金融機関の残し方については、金融の量的緩和の解除も視野に入れる中、政府金融が担っている機能やサービスが後退することのない効果的な仕組みの構造がぜひとも必要であります。

以上、年頭にあたり所感の一端を申し述べました。私は、全国五二三商工会議所、一五〇万会員の強固なネットワークをもとに一致団結して行動すれば、まさに地域総合経済団体として大変大きな力になると実感しております。本年も一層のご支援とご協力を心からお願い申しあげます。

初心を忘れず全力で 「いいひと いいこと つぎつぎ〝とちぎ〟」

栃木県知事
福田 富一

県民の皆様、あけましておめでとうございます。

現在、地方自治体においては、三位一体の改革や市町村合併、かつてないほど厳しい財政状況への的確な対応など、行財政システム全般にわたる抜本的な見直しが求められており、加えて急速な少子高齢化の進行や団塊の世代の退職による生産年齢人口の減少が、本県の経済・社会にも様々な影響を及ぼすことが懸念されております。

こうした中で、本県の将来像である「活力と美しさに満ちた郷土〝とちぎ〟」を実現していくためには、これまでの「人と社会のあり方」を原点から見直し、〝とちぎ〟づくりのすべての担い手が協働する自立した地域づくりを進めていく必要があると考えております。

本年は、新しい総合計画のもと、新たなスタートをきる年になります。計画の中では、これからの〝とちぎ〟づくりを進める上で県民の皆様と共有すべき基本姿勢として、「県民が主役」「県民協働」「地域の自立」を掲げております。併せて、県民の皆様とともに中長期的な視点から重点的に取り組むべきテーマとして、すべての活動の原動力となる「人間力」の向上や、少子化時代における次世代の育成、そして県民自らの創意工夫による個性あふれる地域づくりの三つを取り上げ、今後の五年間に特に力を入れていくこととといたしました。

また、新たな「行財政改革大綱」を策定するとともに、本県独自の行政評価手法である「とちぎ政策マネジメントシステム」を見直し、より効率的な県政運営の実現を図って参る考えであります。私は、新しい時代を創っていくという強い決意と未来への確固たる展望を持ち、本県の新しいキャッチフレーズ「いいひと いいこと つぎつぎ〝とちぎ〟」のもと、県民の皆様とともに、つぎつぎに幸せが訪れる元気な〝とちぎ〟の実現を目指して最大限の努力を傾注して参りたいと考えておりますので、より一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が商工会議所会員の皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

佐野商工会議所
役員・議員一同

会頭	武司信興雄之男宏彦一夫一一治夫夫夫三一博章雄孝雄
副会頭	清　重英克雅初　勝憲卓有陽幸静孝孝聖浅一幹重　良
〃	村田澤崎井井村丸　野名藤谷澤本渡倉海澤波藤子井川
〃	木米唐神石筒田松原小桑安渋白松二石天吉藤加金横吉
専務理事	早亀橋大福三蛭井恩藤亀茂兵内菊長
常議員	二内夫行司夫泰次人三夫男人容雄宏司郎次雄人嗣明道二
〃	好嘉壮喜堅章　三義良哲康眞誠一勝博信重隼元義正宣
〃	田田岩合島倉原崎倉崎田原澤村岡崎崎野田澤澤池沼田
〃	亀島平落矢熊笠川小篠太栗田岡上篠篠磯栗柳米菊蓼増
〃	戸井沼川屋部林村橋田子川中川部名川崎
〃	土水小木柳嶋金小山石阿椎大山
〃	事
〃	員
〃	議
〃	監

「足利ルネッサンス」を目指して

足利商工会議所
会頭 板橋敏雄

新年明けましておめでとうございます。

平成十五年十一月末、足利銀行が一時国有化に陥ったことは、地域産業界はもとより、その発祥の地である足利市民にとっても精神的支柱を失うような衝撃的な出来事でありました。こうした中、足利商工会議所は、中心街に位置する足利銀行旧本店を購入し、国の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業の認定を受け、「伝統、文化を受け継いだ温もりや賑わい、安全、安心が確保される中心街」の創出、「企業の経営革新」、「モノづくりのまち」を推進する拠点とすることを決意しました。

足利商工会議所は「市民会議所」として「足利再生・足利ルネッサンス」運動を展開してまいる所存です。

中心市街地の賑わいとコミュニティの復活を

桐生商工会議所
会頭 佐藤富三

両毛五市会議所会員の皆様には明るい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

桐生商工会議所は、中心市街地の賑わいとコミュニティの復活、ファッションタウン構想の推進による生活文化創造都市づくり、豊かな地域資源を活かしたまちづくりや産業観光、都市観光の推進、桐生伝統のものづくりによる桐生ブランドの確立など、出来る限りの力を注いでいきたいと存じます。

平成十八年も商工会議所は事業者とともに考え、皆様のパートナーとしての役割を果たしていくとともに、地元経済を守り育て、伸ばしていくための施策を確実に、かつ積極的に講じていきたいと存じます。

「経済活性化へ期待」

館林商工会議所
会頭 河本榮一

平成十八年の輝かしい新春を迎えられ、謹んでお慶び申しあげます。

館林商工会議所では、昨年より会員事業所への金融支援として、会議所提携ローンをスタートさせ、今後も引き続き強化体制を進めていきたいと存じます。

商業振興においては、プレミアム付消費券の発売、まちづくり研究グループ活動、下町夜市、七夕まつりや初市などの事業を通し商業活力に寄与すると共に、今後も中心市街地活性化基本計画策定に参画するなど、活気あふれる街づくりを進めたいと存じます。工業振興では、技術者の育成、地元企業の製品や技術のPR、雇用対策の支援に努める所存です。

ものづくりは太田から

太田商工会議所
会頭 荻原栄一

新年あけましておめでとうございます。

当地域では昨年三月、一市三町の合併により人口二十一万七千人の新太田市が誕生、太田商工会議所では、「商工会議所提携ローンの開設」「スバル通りの空き店舗対策事業の取り組み」また、産業活性化の一層の推進として、製造業を基幹産業とする「ものづくり」市としての観点による「金型学科」の早期設置を要望いたしました。

新たな枠組みの中で、当所が、地域経済の発展に大きく貢献できるように、今後も積極的に事業を展開していく所存です。